

浦河町社協だより

ゆうなぎ

No.32



「支え合い ひとりの心 みんなの力」
～全道老人クラブ大会が浦河で開催されました～



昭和 52 年 8 月、うらかわ港まつりにおいて千人規模で踊られた「浦河音頭」。新浦河町史によると、その後なかなか披露される機会がなかった“幻の音頭”が、昨年 9 月に浦河町で行われた第 48 回全道老人クラブ大会において、三十数年の歳月をへてお披露目されました。

また、高齢者劇団「座・たくあん」による演劇『七転び八起き』も、道内各地から集まった参加者に笑い感動を届け、浦河町老人クラブ連合会の底力を垣間見た大会となりました。

平成 24 年 3 月発行
社会福祉法人 浦河町社会福祉協議会

本号の内容

[表紙の写真] “浦河音頭” の復活 / 座・タクアンの躍動

東日本大震災に関連する浦河町社協の取り組み 2 ~ 3 ページ

赤い羽根共同募金運動のご報告とお礼 3 ページ

愛情銀行へのご寄付 4 ページ

～この社協だよりは、共同募金会からの助成金の一部が使われています～

東日本大震災が起こってからまもなく一年になります。

今なお不安な毎日をお過ごしの方々に心からお見舞い申し上げます。また、今後も長く続く復興への道のりにできる限りの支援・協力を行ってまいります。

ここでは、当社協がこれまで携わってきた被災地の支援につながるさまざまな取り組みとあわせて、決してひとつではない“災害”への備えとして進めている事柄についてご紹介いたします。

東日本大震災義援金等の募集

共同募金会では、災害の発生に伴う災害救助法の適用状況等に応じて、被災者支援のための義援金募集や災害時のボランティア活動への資金支援を行っています。

東日本大震災直後から、各市町村の共同募金委員会（事務局／各市町村社協）が窓口となり取り扱いを開始し、浦河町では下記の内訳で受付しました。寄せられた義援金は責任をもって共同募金会に送金させていただきましたことをご報告いたします。【ご芳名のみ右頁に記載】

「東日本大震災義援金」

被災地の行政を通じて、全額がお見舞金として被災者に届けられます。日本赤十字社による義援金と同様の取扱いになります。

【募集期間】 平成24年3月31日まで

平成24年1月末現在

5,910,383円

・窓口対応：全46件（団体・個人含む）
・募金箱：町内19カ所設置 の合計

2月16日現在、中央共同募金会及び日本赤十字社を通じて、これまでに被災15都道府県（各県の配分委員会）に対し、計3,465億円余が送金されています。

「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」

東日本大震災に関わる支援活動に対する助成金として活用されます。「支える人を支える募金」です。

【募集期間】 平成25年3月31日まで

平成24年1月末現在

30,000円

全2件（団体・個人含む）より

復興支援活動において、ボランティアやNPOの果たす役割は大きく、また長期にわたることが見込まれています。こうした活動を資金面で支援するための「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」は、募集期間が来年3月までとなっていますので、引き続きご支援のほどお願いいたします。

被災地社協への職員派遣

北海道社会福祉協議会からの要請を受けて、岩手県宮古市社協に職員1名を派遣しました。被災地の社協に設置された「災害ボランティアセンター」の運営の支援を主な業務として、全国から集まるボランティアを被災地のニーズと結びつける役割を担いました。

発災から4ヵ月を経る時期の派遣でしたが、津波の爪跡をそこかしこに残しつつも、復旧・復興に向けて力強く立ち上がろうとする被災地の方々のたくましさやボランティア一人ひとりの想いやチカラにふれ、後ろ髪を引かれる思いで帰路に就きました。





共同募金運動へのご協力ありがとうございます

～ 「じぶんの町を良くしたい」という気持ちが地域福祉推進の原動力です～

毎年 10 月から 12 月までの期間で全国一斉に取り組まれる赤い羽根共同募金運動に、今年度も個人・団体・企業をはじめとした多くの皆様方のご協力を頂戴いたしました。まずは誌面を借りて、厚く御礼申し上げます。

今年度寄せられた募金は、一度北海道共同募金会に送金した後、来年度のさまざまな事業に役立てるために、各市町村の共同募金委員会に助成されることになっています。

平成 23 年度募金実績額 1,409,792 円



災害にも活用されている共同募金！

各都道府県の共同募金会では、募金額の一部を「災害等準備金」として積み立てており、大規模災害が起こった際の災害ボランティア活動支援など、被災地を応援するために使われています。

昨年も「東日本大震災」や「新潟・福島豪雨災害」、「台風 12 号豪雨災害」などの大規模災害が相次ぎましたが、各被災地の災害ボランティアセンターの立ち上げ等に役立てられました。

「災害義援金」寄付者一覧（受付順）

（受付時に周知承諾いただいた方のご芳名のみ記載させていただきました）

- ▶ 浦河ロータリークラブ 様 ▶ 梅田牧場 様 ▶ ㈱ホクチク 様 ▶ 手作り工房かたくりの花 様 ▶ 太田正克 様
 - ▶ 浦河町母子寡婦三葉会 様 ▶ 北海道競走馬輸送事業協同組合 様 ▶ 馬道浩美 様 ▶ 米山 豊 様 ▶ 姉茶自治会 様
 - ▶ 浦河町民憲章推進協議会 様 ▶ 浦河地区交通安全協会連合会 様 ▶ 高橋喜久雄 様 ▶ 高橋久美子 様
 - ▶ 野深第一自治会 様 ▶ パークゴルフ愛好会あすなる会 様 ▶ 社会福祉法人浦河向陽会 様 ▶ 子育てサポートバンビ 様
 - ▶ ソシアルダンスファースト会 様 ▶ 社会福祉法人浦河愛生会 様 ▶ バックリバー(㈱) 様 ▶ 東町親和会 様
 - ▶ 荻伏市街自治会 様 ▶ 藤井内科医院 様 ▶ 浦河向陽園父兄会 様 ▶ 浦河町大通商店街協同組合 様 ▶ 杵臼長生会 様
 - ▶ 東部保育所父母の会 様 ▶ 幌別和光会 様 ▶ 浦河ウエリントンホテル 様 ▶ 浦河文化協会加盟団体一同 様
 - ▶ 津澤静子 様 ▶ 理容さとう 様
- （平成 24 年 1 月末現在）

ボランティア研修会の開催

去る 11 月 13 日（日）、浦河町総合文化会館で管内のボランティアを対象に研修会を行いました（事業名 / 日高地区ボネット・スキルアップ事業）。

発災以来、数回にわたり被災地に赴き支援活動を行っている NPO 法人ファシリテーターフェローズの理事 2 名をお招きし、被災地の生々しい現状をお伝えいただくとともに、震災を“自分”や“わがまち”に置き換えて思考することで、日頃の活動への動機づけを高めました。



社協内の取り組み

当社協は「地域福祉の推進」という社会福祉協議会共通の目的達成に向けて、特に在宅福祉の側面からアプローチしている特徴があり、日常的にも介護サービスの提供を中心に事業を展開しています。

現在、各介護事業のスタッフと共に「災害対応マニュアル」の作成を進めています。



できることから形にして、「いざ」というときに備えたいと思います。

《愛情銀行へのご寄付》

(平成23年2月～24年1月取扱分)

社会福祉振興基金へのご寄付

・杉目 清風 様	30,000 円
・浦河第一中学校 生徒会 様	32,456 円
・堀之内浩幸 様	50,000 円
・白泉老人クラブ親光会 会長 菅原 茂 様	30,000 円
・村下ミエ子 様	30,000 円
・安田 政晴 様	100,000 円
・塩出 諭 様	200,000 円
・上松 笑子 様	30,000 円
・米山 豊 様	50,000 円
・室谷 英夫 様	30,000 円
・西 節子 様	100,000 円
・田口 正勝 様	50,000 円
・中川原英子 様	20,000 円
・千葉 伸一 様	50,000 円
・浦河赤十字看護専門学校 学生奉仕団 様	18,039 円
・石崎 秀子 様	50,000 円
・浦河第一中学校 生徒会 様	29,662 円
・浦河第一中学校 P T A 会長 下川原 隆 様	13,446 円
・上山 静男 様	30,000 円
・森田 要三 様	50,000 円
・長岡真知子 様	30,000 円
・浦河消費者協会 様	10,000 円

・浦河建設協会 会長 上田 正則 様	20,500 円
・鈴木 昭三 様	30,000 円
・金石 守 様	100,000 円
・久保田誠悦 様	50,000 円
・木田 弘子 様	300,000 円
・国際ソロプチミスト浦河 会長 城地 慶子 様	100,000 円
・中村 泰三 様	50,000 円
・横山 満 様	30,000 円
・久木田寿子 様	50,000 円
・(有)ガーベラパークスタッド 代表取締役 本巢 俊光 様	100,000 円
・佐藤眞一郎 様	100,000 円

施設・団体等への指定寄付

・立石 俊雄 様	200,000 円
(下記4施設に各50,000円)	
[浦河わらしべ園/北海暁星学院/浦河向陽園/浦河愛生会]	
・全道庁日高総支部家族会 会長 工藤千加子 様	10,000 円
[北海暁星学院へ]	
・久保田誠悦 様	30,000 円
[老人クラブ堺町福寿会へ]	

浦河町社協への指定寄付と用途のご報告

昨年度まで荻伏診療所の理事長として、浦河町の地域医療の発展に尽くしてこられた清水正秀様より、浦河町を通して当社協に200万円もの高額の寄付を頂戴いたしました。

当法人の理事会で用途について検討した結果、今年度(財)日本財団の助成を受けて新規購入することになった福祉車両の自己負担分に充当させていただき、町内で有効に活用させていただく運びとなりました【写真参照】

本誌面上から、“清水先生”への感謝の気持ちをお伝えいたします。



社会福祉法人 浦河町社会福祉協議会

〒057-0024

浦河町築地1丁目4-38 社会福祉会館内

TEL:(0146)22-6800

FAX:(0146)22-6444